

編集 後記

第73回日本公衆衛生学会総会も間近になり、会員の皆様は発表の準備などを進めていることと存じます。本号には、1本の原著と2本の研究ノートが掲載されています。これらの研究は、糖尿病の外来通院患者の満足度、精神障がい者家族のプログラム普及、保健指導サービスの質の管理といった、学術的にも実践的にも有用な論文です。しかしながら、本号では公衆衛生活動報告の掲載はありませんでした。公衆衛生は、実践活動が極めて重要であることはいまでもありませんが、残念ながら投稿数は決して多くありません。多くの会員の皆様にとって、活動報告を投稿しやすくすることを目的として、投稿規定には「公衆衛生活動報告は、自治体や地域団体等が公衆衛生活動を通して得た知見であって、他地域や団体が類似の活動を行う際の参考となる内容の報告とする。構成は表3の例を参考に、制限頁数は10頁とし、少ない頁数でも可能とする」と記載されています。

現在、日本公衆衛生雑誌の論文は、公式ホームページと科学技術振興機構（JST）が構築したデータベース「J-STAGE」で、全文が閲覧できます。つまり、本誌に公衆衛生活動報告として掲載されることで、活動が可視化され、人々と広く有用な情報を共有することが可能となります。毎年秋の学会総会では、活動報告が数多く発表されています。11月の学会総会で発表される会員の皆様、発表での討論も含めて執筆していただき、ぜひ本誌にご投稿ください。インターネットを通じて、皆様の貴重な実践活動が広く認知され、地域の公衆衛生の向上に寄与するものと考えます。投稿を心からお待ちしています。

（斉藤恵美子）

次号予告（第61巻・第11号）

研究ノート

地域に在住する自立高齢者における閉じこもりリスクの実態と体力との関連……山縣恵美，他
健康日本21（第二次）の健康寿命の目標を達成した場合における介護費・医療費の節減額に関する研究……遠又靖丈，他

資料

国民健康・栄養調査の歩数データの特性
……松下宗洋，他